

平成 28年 8月 1日

九州地方整備局

「完全週休2日制」実現を目指したモデル工事の実施

～休んだ現場にはインセンティブを付与！～

建設産業においては、若手技術者の入職が年々減少し、将来にわたり、安全安心な社会資本の維持に支障が生じる恐れがあることが懸念され、中長期的な確保・育成が大きな課題となっている。

九州地方整備局では、建設現場の将来の担い手(若手技術者)確保のため、労働環境改善の取り組みとして、週休2日制が可能な環境づくりを推進します。

【完全週休2日制の定義】

- 土曜・日曜を休日として確保し、当該現場(現場事務所等含む)は完全閉所とする。
※祝祭日・年末年始・夏期休暇は含まない。
※完全閉所とは、現場事務所等で事務的処理等の作業も含め、一切の作業は行わない。
※今回試行は当該現場内の完全閉所が対象。

【施策のポイント】

- ①受注者は、受注後に完全週休2日制工事に取り組むことを発注者に対し**意思表示**できる。
取り組む意思表示した受注者は、その旨を施工計画書に記載するとともに、**現場に「完全週休2日制モデル工事」の掲示**をしなければならない。
- ②完全週休2日制モデル工事に取り組む意思表示を行った後、理由で実施出来なかった場合も減点の**ペナルティは付与しない**ものとするが、工事成績評定に影響がでることもありえる。
- ③完全週休2日制モデル工事の意思表示後、受注者が行った結果を確認し、**成績評定で加点**を行う。

【対象工事】

平成28年8月1日以降に契約手続きを開始する工事のうち、夜間作業(又は施工)を含む工事、熊本地震等災害復旧に関する工事以外のすべての工事(営繕工事は除く)を原則、対象とする

【問い合わせ先】

九州地方整備局 代表電話番号:092-471-6331
直通電話番号:092-476-3546

九州地方整備局 企画部 技術調整管理官 テョウセイ カンリカン 加治 賢祐 (内線3115) カジ ケンユウ

技術管理課長 カチョウ 竹下 真治 (内線3311) タケシタ シンジ

「完全週休2日制」実現を目指したモデル工事の実施について

【完全週休2日制の定義】

- 土曜・日曜は休日として確保し当該現場(現場事務所等含む)は完全閉所とする
 ※祝祭日・年末年始・夏期休暇は含まない。
 ※完全閉所とは、現場事務所です務的処理等の作業も含め、一切の作業は行わない。
 ※今回試行は当該現場内の完全閉所が対象。

【1. 評価方法】

◆完全週休2日達成率100%の場合、成績評定で2点の加点を実施

評価は「法令遵守」にて行う

(休日作業の対象とならないケース)

- ・災害時の緊急時に発注者が作業を要請をした場合。
 - ・休日の工事現場巡視(パトロール)。
 - ・受注した業者の責によらない理由で、休日作業となった場合
- ※上記以外のケースで、休日作業として認めるかの判断は、受発注者間で協議し決定する

【2. 確認方法等】

- 主任監督員が、工事着手前に「完全週休2日制」に取り組むか確認する。
- 取り組む意思表示した受注者に対し、その旨を施工計画書に記載させるとともに、現場に「完全週休2日制モデル工事」であることを掲示を行う。
- 休日の確保を行った記録については、主任監督員が実施工程表で確認する。
- 完全週休2日に取り組むにあたり、日々の残業が大幅に増えないよう事前に指導する。

【3. 入札公告文への記載】

本工事は、当該現場(現場事務所等含む)を土曜・日曜に完全閉所とし、一切の作業は行わないことを、受注者が自らの意思で選択できる、完全週休2日制のモデル工事である

【4. 対象工事】

平成28年8月1日以降に契約手続きを開始する工事のうち、原則として、夜間作業(又は施工)を含む工事、熊本地震等災害復旧に関する工事を除くすべての工事(営繕工事は除く)を対象とする

【(参考)平日残業時の定義】

曜日	金			土		判定
	8:00	18:00:00	24:00	8:00	18:00:00	
勤務状況	← 通常勤務 →		← 残業勤務 →			○
勤務状況	← 通常勤務 →		← 残業勤務 →			× ※24:00オーバーの為 (土曜日含む)
勤務状況	← 通常勤務 →		← 残業勤務 →	← 土日勤務 →		× ※土日勤務の為